今月の窓

「上海から来た先生」の涙

３月２日に放映されたNHK「激流中国　上海から先生がやってきた」では，経済成長の陰で貧困にあえぐ農村部を救おうと乗り出した若者の姿が伝えられた。

上海の名門大学に通う女子大学生が，外資系企業からの就職の誘いを断り，１年間寧夏回族自治区の学校のボランティア教師として赴き，貧しい農村部の現状を目の前にする。

具のない饅頭だけの食事と二段ベッドに６人がすし詰めで寝る寄宿舎で１週間を過ごす生徒たち。成績が落ちてきた女子高校生は病気の母親のために昼休みに自宅に戻り家事をこなしていた。その弟は，母親の治療費のための借金の返済と，大学進学の希望を持つ姉のために自らは進学をあきらめ，出稼ぎに出る。早朝暗い時間からまだ入室できない教室の窓の明かりを頼りに，進学を夢見て厳寒の戸外で懸命に教科書を音読する高校生たち。一方で多くの中学卒業者が都市への就職のため集団でバスに乗り込み，こらえきれない涙で見送りにきた家族と別れを告げる。

彼女はこの厳しい農村の現実を初めて自分自身の経験として知り，「自分にはこの農村の若者たちを救う力がない」と涙する。また，同地区には彼女のほかに12人の大学生が派遣され，この支援プロジェクトにはこれまで10万人の都会の若者が参加したという。

中国共産党と国務院は毎年初めに，その年の最も重要な政策課題と位置付けるものを「中央１号文件」として発表する。１月31日，「農業インフラ整備の強化による農業発展と農民増収の促進に関する若干の意見」が2008年１号文件として中央農村工作領導小組弁公室の陳錫文主任によって公表された。農業問題が１号文件として取り上げられるのは04年以来５年連続であり，「三農問題」を最優先課題とする姿勢が強く示されている。

この中には農村の義務教育レベルの向上を図るための教科書の無償提供や経済困難家庭の生徒の寄宿生活費への補助基準の引上げも具体策として掲げられている。また，農村金融体制の改革と刷新の加速についても言及され，結びの部分では「農業の基礎を強化し，農村発展を加速することは全社会の共同責任事項である」と謳っている。

農村人口が６割（7.5億人）を占める国において，農村部の発展なしに国民の幸福は得られない。また，中国農村部の経済発展が世界経済に大きなプラス効果を与えることは言うまでもない。

翻って，わが国の風潮はどうか。豊かな農山村を実現し維持していくことが全社会の共同責任である，という意識はあるか。「市場原理」という紋切り型の言葉の裏に，本当に大事なことを真剣に一人ひとりが考えるということが忘れられているとしたら，心豊かな国とはほど遠いものになってしまうだろう。人はみな幸せに生きる権利を持っている。

今月は中国農村金融の特集号とした。地域の発展，民衆の生活向上に金融の役割は大きい。ダイナミックに進められる中国農村金融改革は多くの示唆を含んでいる。

（(株) 農林中金総合研究所　常務取締役　岡山信夫・おかやまのぶお）